

グリーンヴィレッジ、大雪旭岳源水などを予定しています。

「育ちあいと自然エネルギーを活かす自治体作り」「写真甲子園」と「君の椅子」のまちから」をテーマに、特色ある各地自治体の取り組みなどを発表、討論します。

分科会は5つに別れ、①育ちあいを活かす自治体づくり―文化・福祉・子育て②自然エネルギーを活かす自治体づくり③自然環境を活かすづくり・自治体づくり④町村長交流会⑤特別講座「農場振興の試みとPPP」―の各テーマで話し合います。

教育課から

お問い合わせは教育課 ☎(内線581)

「小西健二奨学金」の奨学生を募集

家計の経済的な事情を乗り越えて進学を志す学生を対象に「小西健二奨学金」の受け付けをします。2009(平成21)年に亡くなった故小西健二氏の遺志で始めた制度です。遺贈を受けた3千万円を原資として町予算を加えて運用しています。

対象 ①国公立の短期大学、高等専門学校、大学に在学する学生であって経済的に厳しい家庭環境にあると認められる者②保護者は1年以上東川町に居住していること

奨学金 ①短期大学生、高等専門学校生10万円②大学生20万円(ともに予算の範囲で一時金)

申請 対象学生の入学年度(高等専門学校生は4年進級年度)締め切り 5月末日(指定の申請書は教育委員会教育課にありませ)

選考 審議会で選考の上決定

子ども未来課から

申し込み、お問い合わせは子育て支援センター ☎(内線) 599、(直通) 82-5100、子育て支援推進室 ☎(内線598)、幼児センター ☎(直通) 82-3400

「ふれ愛の郷」の見学会のご案内

旭川福祉専門学校の地域生活支援センター「ふれ愛の郷」の見学会を行います。親子で自由に利用できます。保育科の学生と一緒に遊びもできます。当日は幼児センターから大型バスで送迎します。

日時 5月10日(木) 午前10時～正午
場所 地域生活支援センター「ふれ愛の郷」(東川町進化台)
募集 15組程度(要予約)
対象 親子どなたでも

☎46-5922

春のくらし楽しくフェスティバルは5月26、27日

「第52回くらし楽しくフェスティバル」は5月26日(土)、27日(日)の両日、キトウシ森林公園で開きます(雨天決行)。

道北最大級の衣類、雑貨のリサイクル市、春の野菜・花の直売、農家の農産物、農産加工品直売、浜頓別町の海の幸直売、飲食コーナーなどを準備して来場をお待ちしています。

チンドン屋「春月」(旭川)
(26日)、羽衣太鼓ジュニア演奏(同)、旭川北高校吹奏楽部演奏(27日)も予定しています。豪華景品の宝引き、じゃんけんカードゲームも併せてお楽しみください。お問い合わせはフェスティバル実行委員会事務局(東川振興公社内) ☎82-2632

故永澤議員に旭日単光章

今年2月、72歳で死去した故永澤元吉氏が旭日単光章を受章し、4月2日松岡市郎町長が妻孝子さん(72)に叙勲を伝達しました。故永澤議員は農業を営む傍ら、1975(昭和50)年に町議会議員に初当選後、1991(平成3)年まで4期16年間在職しました。

救急講習会にご参加ください

乳幼児に多いけがなどの応急手当とAED(自動体外式除細動器)の使い方を習う救急心肺蘇生の実技講習です。

日時 5月17日(木) 午前10時～11時半
場所 子育て支援センタープレールーム

募集 15組程度(要予約)
対象 零歳児以上のお子さんをお持ちの保護者

内容 乳幼児に多いけがの対処と実技講習
講師 大雪消防組合救急救命士

「子育て講座」を開きます

毎年好評の陶芸教室です。育児の情報交換の場も兼ねてお母さんの時間を過ごしましょう。当日は託児もあります。

日時 5月25日(金) 午前10時～正午
場所 子育て支援センタープレールーム

募集 10～15組程度(要予約、先着順)
対象 子育て中の保護者どなたでも

内容 陶器のお皿(1枚)の製作
講師 理創夢工房、滝本宣博さんご夫婦
材料費 千200円(当日講師に支払い)

持ち物 エプロン、雑巾

町立診療所から

お問い合わせは診療所 ☎82-2101

毎週木曜日、消化器内科の外来診療が始まりました

町立診療所の診療科目に週1回、消化器内科が新たに加わりました。旭川医大から担当医が来て診察に当たります。胃カメラなど内視鏡検査も可能です(要予約)。

診察日 毎週木曜日
時間 午前8時半～午後5時15分(午前中検査、午後一般外来診療)
担当医 和田佳緒利医師

商工会が街なか活性化の構想を提言

中心市街地の活性化対策を検討するために東川町商工会(藤田裕三会長)と町と町内各団体が構成していた街なか活性化推進協議会(同)は3月21日、2年後に移転開校を予定している東川小学校の跡地活用を核とした街なか活性化構想を松岡市郎町長に提出しました。

3月末で解散した同協議会の最終提言。2年前に作成した町の

「街なか活性化基本計画」を基本に、現小学校跡地を核にして中心市街地を4つのエリアに再ゾーン化して活性化することを構想しています。

現小学校跡地を除いて「オーブングリーンストリート」「東川歴史文化のギャラリーパークゾーン」「ライフゾーン」「レンガビレッジゾーン」とし、にぎわいと回遊性を創造する街並み再構成を提案しています。

現校舎は仮称「町民文化交流校舎」として再活用。グラウンド部分に新道の駅となるセンターハウスとガーデンテラス付きのショッピングモールを提案しました。

町の中心市街地商店街活性化対策は、街なか活性化基本計画を基にして、今後具体的な構想の策定を



23年度 日本赤十字社東川町分区収支決算書

<収入の部>

科目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減(円)	備考
繰越金	33,746	33,746	0	前年度繰越
配分金	120,000	118,160	△1,840	赤十字奉仕団運営助成金 20,000円 分区交付金 94,000円 赤十字奉仕団研修会交通費 4,160円
社費	1,000,000	927,700	△72,300	
雑入	254	50,014	49,760	預金利息 14円・分区交付金 50,000円
合計	1,154,000	1,129,620	△24,380	

<支出の部>

科目	予算額(円)	決算額(円)	比較増減(円)	備考
事業費	1,100,000	1,027,700	△72,300	社費 927,700円 赤十字奉仕団助成金 100,000円
旅費	20,000	40,000	20,000	上川支庁地区委員会総会・研修会等 中央ブロック委員会研修会 赤十字奉仕団中級研修会
事務費	24,000	21,231	△2,769	分区関係事務消耗品 振込手数料(社資・義援金)等
災害援助	5,000	30,000	25,000	
予備費	5,000	0	△5,000	
合計	1,154,000	1,118,931	△35,069	

(収入)	(支出)	(繰越金)
1,129,620円	- 1,118,931円	= 10,689円

○赤十字は、あなたの善意が支えます。

赤十字は、明るく住みよい平和な社会を築きあげるため血液事業の推進や国内外の災害時の医療救護・救護物資や義援金の贈呈など、いろいろな事業を行い、世界の平和と福祉に役立つ願いで活動しています。その活動を支えているのが、善意による社資(社員)と寄付金、そして労力を提供する多くの奉仕者です。平成23年度の東川町分区の決算書は、次のとおりですので今後ともご理解とご協力をお願い致します。

日赤赤十字社東川町分区 分区長 松岡市郎
東川町長